

# 男女共同参画推進室便り

2014年5月30日発行



神戸大学男女共同参画推進室 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 Tel 078-803-5017 Fax 078-803-5285 分室 Tel & Fax 078-803-5471

## 神戸大学の女性研究者3名が

### 「第6回及び7回 資生堂 女性研究者サイエンスグラント」 を受賞しました



医学研究科小児科こども急性疾患学の池田真理子特命講師と、理学研究科化学専攻の酒田陽子特命助教の2名が、2014年の資生堂グラント受賞者（全国の指導的女性研究者トップ10）として選出されました。昨年受賞者の西村珠子助教に引き続き、2年連続で神戸大学の女性研究者の受賞となります。

資生堂 女性研究者サイエンスグラントは、「出産・育児・介護」の影響を受けやすく、サポートする環境が不十分な女性研究者を支え、また指導的研究者の育成を目指して設立されました。2014年度は、200件以上の応募があり、将来性が期待できる10名が選出されました。



### 【資生堂 女性研究者サイエンスグラント】とは



「資生堂 女性研究者サイエンスグラント Shiseido Female Researcher Science Grant」は指導的研究者を目指す貴女を支援する研究助成です。自然科学分野の幅広い研究テーマ（理工科学系・生命科学系全般）を対象に、2007年度の設定以来、毎年10名の女性研究者へ研究助成を行ってきました。新規性・独創性があり、ご自身の研究分野を切り拓く意欲のある研究計画を歓迎します。

（資生堂 HP より） <https://www.shiseidogroup.jp/rd/doctor/grants/science/>

### 「資生堂 女性研究者サイエンスグラント」設立の背景

資源の少ない日本では、科学技術の振興が不可欠です。この分野は人材確保が課題で、その対策の一つとして、女性研究者をどう活かしていくかに注目が集まっています。昨今、女性の活躍が経済成長に欠かせない中で、企業・大学を問わず女性の登用も焦点となっています。

日本の研究者に占める女性の割合は14%に留まっており、諸外国（英38.3%、米34.3%）と比べて下回っています※2。女性は男性より「出産・育児・介護」の影響を受けやすく、サポートする環境が不十分なことが背景にあります。大学等で研究に携わる女性を見ると、工学分野の研究者に占める女性の割合は9.2%、理学で13.0%、農学19.6%に留まっており、助教・講師・准教授・教授と職位が上がるにつれて女性の割合が低くなる傾向があります※2。資生堂はこうした状況を踏まえ、指導的研究者を目指す女性を毎年10名選び、支援する「資生堂 女性研究者サイエンスグラント」を2007年度に設立しました。

※2：内閣府平成25年版男女共同参画白書より

（資生堂 HP より） <https://www.shiseidogroup.jp/releimg/2271-j.pdf>



## 受賞者インタビュー



### 酒田 陽子

理学研究科 化学専攻 特命助教

(受賞当時、2014年4月神戸大学から金沢大学に転出)

第7回「資生堂 女性研究者サイエンスグラント」受賞

#### 受賞テーマ

新規光応答性分子の金属錯体形成によるハイブリッド型機能材料の開発  
(光によって構造変化する材料の開発)



受賞した率直な感想をお聴かせください。

嬉しかったです。研究者・教育者として、受賞後のこれからが大事だと考えています。



ワークライフバランスはうまくとれていますか？

一週間のうち、研究からまったく離れる日を一日作るようにしています。リセットしてまた新たに頑張る事ができ、効率も上がります。



ぜひ、後輩のみなさんへのアドバイスをお願いします。

私自身がそうしてきましたが、研究で岐路に立った時に、自身が興味を持った方向に素直に転換すると良いと思います。また、小さな成功体験の積み重ねが重要だと思います。



ご趣味は？

少林寺拳法、読書です。読書は、サスペンスなどさっと読める小説を読みます。また、買い物もいいリフレッシュになります。



#### 受賞テーマ

先天性肺嚢胞性疾患における体細胞モザイク型変異の検出と発症機序の解明  
(先天性肺疾患の発症機構を遺伝子レベルから解明する研究)



受賞した率直な感想をお聴かせください。

出産後3カ月で復帰して、ベビーシッター派遣制度(男女共同参画推進室が仕事と家庭をサポートする両立支援制度の一環)を利用しながら教育・研究を続けていたので、勇気と希望をもらって感激しました。



ワークライフバランスはうまくとれていますか？

仕事をする環境で女性の可能性が変わると思います。私の場合は、上司や職場の方々の理解や協力、支えがあり、大変感謝しています。常に何が一番大事なのかを考えて選択し、時間を有効に使うようにして仕事と家庭のバランスを取るよう自分なりに努力しています。また、夫が家事や育児に大変協力してくれていますので、とても助かっています。仕事と家庭のバランスをうまくとるには、夫との協力体制が必要不可欠です。



ぜひ、後輩のみなさんへのアドバイスをお願いします。

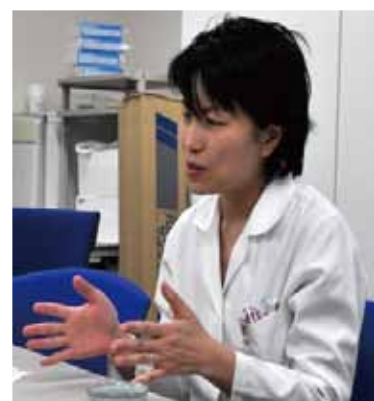
リサーチマインドを持つこと、ロールモデルを見つけること、信念や興味をぶれずに持ち続けること、周りへの感謝の気持ちを忘れないことです。

若いときの蓄積が、必ず生きてきます。英語の学習も重要です。



ご趣味は？

料理やお菓子を作ることです。



### 池田 真理子

医学研究科 小児科

こども急性疾患学 特命講師

第7回「資生堂 女性研究者サイエンスグラント」受賞

### 神戸大学男女共同参画推進室

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1  
TEL 078-803-5017,5471 / FAX 078-803-5285

Email: gnrl-kobestyle@office.kobe-u.ac.jp

HP: <http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/>



男女共同参画推進室シンボルマーク